

『高血圧 ～薬物治療～』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



今回は高血圧の治療薬のお話をいたします。

血圧を下げるには減塩、運動、禁煙が基本になります。しかしこのような生活習慣の改善だけでは目標とする血圧まで下がらずに、血圧を下げる薬（降圧薬）をお勧めすることが多々あります。その際に「血圧の薬は飲み出したら止められないと聞くので、できれば飲みたくない」といった声をよく耳にします。

降圧薬は服用することで血圧を下げてくれますが、血圧の高い体質を改善するわけではありません。そのため毎日薬を服用し、血圧を下げ続ける必要があります。また加齢とともに血圧は上がっていきますので、確かに一度始めた降圧薬を途中で中止するのは難しいと言えます。ただ、体が薬に依存してしまうことはありませんし、長期間服用を続けることで薬の害が蓄積されるようなこともありません。むしろ降圧薬の中には単に血圧を下げるだけでなく、心臓や腎臓・血管をいたわってくれるものもあります。

薬を服用するようになると定期的な通院が必要となり、時間的・金銭的な負担も生じます。しかしそういったマイナス面を差し引いて考えても、高血圧を放置しておくことの方が長い目で見たときに大きな損失につながりかねません。

また降圧薬も多くの種類があります。血管を拡げて血圧を下げる血管拡張薬として、カルシウム拮抗薬、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬、ACE阻害薬の3つがあり、血管の血流量を減らして血圧を下げる薬として、利尿薬、β遮断薬の2つがあります。これら5つの薬が第一選択薬として最初に使われ、血圧の低下が不十分な場合に複数の薬を組み合わせ使用します。高血圧も血管の緊張・収縮が原因のタイプ、血管内の血流量が過剰となっているタイプがあります。自分に合った治療・薬についてよく相談されて下さい。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000